

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-1		事業名	さっぽろ学校給食フードリサイクル
担当	教育委員会生涯学習部管理課(栄養指導担当) 田村 理都子 TEL211-3833			
全体計画				
事業内容	学校給食を作る過程で発生する調理くずや残食などの生ごみをリサイクルセンターに運び堆肥化し、農家はその堆肥を使用して作物を栽培し、その作物を学校給食の食材に用いて、子どもたちが食するという学校給食を基点とした事業で平成18年度2校のモデル校の取組から始めた。 ① 学校教育において、フードリサイクルを活用し食育、環境教育を推進し実践的な取組を先行蓄積するための重点校を選定し実践するとともに、重点校での成果等の報告会を開催するとともに市民にこの事業の啓発を図る。 ② リサイクル堆肥を利用した作物を栽培し学校給食で使用する。いくことについては経済局(農務部)と農家の協力体制等について調整し推進していく。 ③ 生ごみの分別回収については環境局と収集体制等について調整し推進していくとともに、学校での生ごみ回収のための環境を整備する。		＜年度別の事業内容＞	
			<平成19年度> 関係者による連絡会議の開催、5校の重点校での取組、学校給食にリサイクル堆肥で栽培した作物を提供、生ごみ回収の推進、フォーラムの開催 <平成20年度> 関係者による連絡会議の開催、7校の重点校及び12校の栽培活動実践校での取組、学校給食にリサイクル堆肥で栽培した作物を提供、生ごみ回収の推進、フォーラム及びパネル展の開催、啓発資料及び教材の作成 <平成21・22年度> 関係者による連絡会議の開催、フードリサイクル実践校での取組、学校給食にリサイクル堆肥で栽培した作物を提供、生ごみ回収の推進、啓発活動の推進	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	【関係者による連絡会議の開催】 2回(5月、12月) 【重点校(5校)での取組】 学校教育活動全体でフードリサイクルに取組み実践活動を通して食育・環境教育を推進した。 【学校給食にリサイクル堆肥で栽培した作物を提供】 とうもろこし・・・使用校 重点校(5校) 期間 8月から9月(各校1回) レタス・・・使用校 272校 期間 7月から10月1週目(各校1回程度使用) 【生ごみ回収の推進】 生ごみ回収校 182校(60%) ・【フォーラムの開催】 対象・・・学校関係者、保護者、市民等 開催日・・・平成20年2月22日 場所・・・教育文化会館 参加者211名		【関係者による連絡会議の開催】 2回(5月、12月) 【重点校(7校)及び栽培活動実践校(12校)での取組】 先行事例を蓄積する重点校のほか、新たに小学校12校で、リサイクル堆肥を利用した学校での栽培活動を実施し、食育・環境教育を推進した。 【学校給食にリサイクル堆肥で栽培した作物を提供】 とうもろこし・・・重点校(7校) 期間:8月～9月(1回) レタス・・・305校(全小中学校)期間:7月・9月(各校1回程度) 玉ねぎ・・・305校(全小中学校) 期間:10月 【生ごみ回収の推進】 生ごみ回収校 229校(75%) 【教材・資料等の作成】 教材用DVD及び重点校の実践事例集を全学校に配布 【啓発事業】 教育委員会ホームページの更新、パネル展及びフォーラムの開催、リーフレットの配布 ※フォーラムの開催 対象・・・学校関係者、保護者、市民等(参加者210名) 開催日・場所・・・平成21年2月10日 教育文化会館 ※パネル展示 開催日・場所・・・平成20年12月12から15日 地下街オーロラコーナー	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	【関係者による連絡会議の開催】 2回(5月、12月) ・【フードリサイクル実践校(64校)での取組】 学校教育活動のなかでフードリサイクルに取組み実践活動を通して食育・環境教育を推進した。 フードリサイクル実践校交流会開催 10月26日 【学校給食にリサイクル堆肥で栽培した作物を提供】 レタス・・・使用校:305校 期間:7月 9月(各校1回程度) 玉ねぎ・・・使用校:305校 期間:10月 とうもろこし・・・使用校:135校 期間:8月～9月(1回) かぼちゃ・・・使用校:10校 9月～10月 ・【生ごみ回収の推進】 生ごみ回収校 275校(90%) 【啓発事業】 教育委員会ホームページの更新、パネル展及び実践発表の開催及びリーフレット配布 パネル展 開催日・場所・・・平成21年12月14～18日 市役所ロビー 実践発表 開催日・場所・・・平成22年2月10日 札幌市教育文化会館小ホール 対象・・・学校関係者、大学生、市民等(参加者147名)		【関係者による連絡会議の開催】 2回(5月、12月) ・【フードリサイクル実践校(74校)での取組】 学校教育活動のなかでフードリサイクルに取組み実践活動を通して食育・環境教育を推進する。 フードリサイクル実践校交流会開催(予定) 【学校給食にリサイクル堆肥で栽培した作物を提供】 レタス・・・使用校:全校 期間:7月 9月(各校1回程度) 玉ねぎ・・・使用校:全校 期間:10月 とうもろこし・・・使用校:225校(予定) 期間:8月～9月(1回) かぼちゃ・・・使用校:10校 9月～10月 ・【生ごみ回収の推進】 生ごみ回収校 275校以上(予定) 【啓発事業】 教育委員会ホームページの更新、パネル展示及びリーフレット配布	
規				
模				
件				
数				
等				

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-1			事業名	さっぽろ学校給食フードリサイクル		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
リサイクル堆肥を使用して栽培した作物の提供校数	2校	272校	全小中学校 (305校)	全小中学校 (305校)	全小中学校 (305校)	全小中学校	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 実践校では、地域の方や保護者が栽培の指導を行ったり栽培活動に参加するなど、学校を中心に取組が拡大している。教育委員会のホームページで札幌市の取組や成果等を紹介している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] 生産者(NPO法人札幌農学校倶楽部)、地域の方々(教員OB、農業経験者等) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] 札幌市農業協同組合、(株)ばんけいリサイクルセンター</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>・21年度は重点校からリサイクル実践校に改称し、64校(20年度7校)において各校の年間計画に基づき、実践した。実践校では食べものだけでなく「自然や環境への興味・関心が高まった。栽培への意欲が高まった。」と顕著な効果があったことから他校の参考として取組の情報提供を行った。</p> <p>・フードリサイクル堆肥を使用して栽培したレタスと玉ねぎを全校、とうもろこしは135校(20年度14校)、新たにかぼちゃを10校に学校給食の食材として提供した。各学校では使用日にあわせて主に給食時間を利用してリサイクルや地産地消について指導したことで児童生徒の食への興味関心が高まった。</p> <p>・教育委員会ホームページの更新とともに、12月に市役所ロビーでパネル展、2月に実践発表会を開催し、市民への啓発を充実した。</p>			<p>・リサイクル堆肥を使用して栽培した作物の種類や提供回数が増</p> <p>・さっぽろ学校給食フードリサイクルの仕組みやリサイクル堆肥を使用して栽培した作物を教材として活用する学校の増</p> <p>・生ごみ回収校の増</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>・フードリサイクル実践校の事例を参考に、フードリサイクルに取り組む学校を増やしていく。</p> <p>・学校給食の食材として、リサイクル堆肥を使用して栽培した作物の種類や量を増やしていく。</p> <p>・広く市民の方々に、この取組みへの理解を深めていただくため普及啓発に取り組む。</p>							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-1			事業名	さっぽろ学校給食フードリサイクル				
事業費の推移										
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費			—	—	—	—	—		
	財源内訳	国・道	支出金							
		市	債							
		その他の	財源							
予算	事業費			0	9,370	0	0	9,370		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他の	財源	0	9,370	0	0	9,370		
実績	事業費			83	8,127	518	—	8,728		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0		0		
		市	債	0	0	0		0		
		その他の	財源	0	8,127	518		8,728		
事業費の進捗率				(H19実績+H20実績+H20実績+H2予算事業費) / (計画事業費)						—
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度] 重点校支援(豆腐製造用具)、フォーラム会場費										
[20年度] 印刷物(パンフレット、事例集等)作成費、DVD教材作成費、実施校支援(消耗品)、フォーラム会場費										
[21年度] 実践発表会場費及び講師謝金、実践校支援(リサイクル堆肥)										
[22年度]										